

# 合併破綻後の財政再建 計画について

齋藤 隆議員

・質問 次の点について伺いたい。

財政再建における行政評価制度の位置付け及び行政機構の抜本的改善について

自主・自立プロジェクトの位置付けと権限について

・答弁(総務部長) 行政評価制度については、

その効果と必要性から導入について検討を進めてきたところであるが、平成十六年度において本格的な取り組みを予定している。

具体的には、各部署単位の一定の事業について、事務事業の評価を行い、平成十七年度の予算編成に反映させていく

また、自主・自立の行政を進めるうえで、職員の定員削減や民間への業務委託を視野に入れた機構改革を行うことは当然必要なことであり、行政機構の見直しはもとより、組織の活性化のために民間企

とともに、平成十六年度に策定を予定している中期財政計画に基づき、年度ごとの構造改革目標を立て、施策や事務事業の優先付けを行い、事務事業評価、政策評価、行政評価のシステム化を構築していきたいと考えている。

また、自主・自立の行政を進めるうえで、職員の定員削減や民間への業務委託を視野に入れた機構改革を行うことは当然必要なことであり、行政機構の見直しはもとより、組織の活性化のために民間企

業など他の分野の事例等も研究し、積極的に実践していきたい。

自主・自立プロジェクトの取り組みむべき課題は、全事務事業の見直しをはじめ、人事給与、組織機構などの見直しを図ることにある。そして、これを強力に推進し、平成十七年度以降の予算に確実に反映させていくために、五年間の中期財政計画を策定することが緊急かつ重要な取り組みである。

したがって、プロジェクトを進めていきたい。

また、当面の対策としては、引き続き放置自転車を取り締まりに努めるとともに、先取得用地を活用した駐輪場の整備や新たな駅へのアクセス方法の検討をしていきたい。

羽生駅舎自由通路の開通式が、市政五十周年記念事業として行われる予定であり、これを契機として、駅を挟む東西地域の商業の活性化を図られる事業や施策を検討していきたい。

# 羽生駅東口活性化策について

藤倉 宗義議員

・質問 次の点について伺いたい。

駅周辺駐車スペースの確保や駐輪場の整備など駅前車両交通の円滑化を図るための整備について

市政五十周年記念事業を通じての東西商業の活性化について

・答弁(都市整備部長) 駅東口周辺の駐停車スペースの確保や駐輪場の設置については、現在の東口駅前ロータリーのスペースが狭く、これを解消するためにはタクシーベイや送迎車両の駐停車帯などの機能を備えた駅前広場の整備が不可欠である。

しかし、これまでの都市計画決定や土地区画整理事業などの整備手法では、関係権利者との権利調整や補償交渉に多くの時間と費用を費やすことから、早期に事業効果のあらわれる新たな計画、整備手法が必要であると考えている。

今後は、羽生プラスチック跡地など先行取得用地の状況や周辺の地権者の意向など把握し、新たな駅前広場のあり方を検討するとともに、従来の整備手法にとらわれない地域情勢に適した手法の検討を

## その他の質問

・乳がん検診について  
・子ども居場所づくり新プランについて  
・成人式のあり方について

## その他の質問

・生活習慣病予防徹底による健康のまちづくりについて  
・中古自動車販売業者の軽自動車税減免について



タクシーの並ぶ羽生駅東口